

Press Release - November 14, 2007
OPEN LETTER TO GOVERNOR SYMINGTON AND JAMES FOX
THE DISCLOSURE PROJECT
STEVEN M. GREER MD, DIRECTOR
14 NOVEMBER 2007

報道発表 - 2007年11月14日
サイミントン知事とジェームズ・フォックスへの
公開書簡

公開プロジェクト
スティーブン・M・グリア 医師, 責任者
2007年11月14日

([公開プロジェクトのウェブサイトより](#))

親愛なるサイミントン知事並びにフォックス氏,

月曜日の素晴らしい記者会見, おめでとうございます (*フォックス氏らにより組織された 2007 年 11 月 12 日の米国政府に向けた UFO 再調査要求)。私たちは公開への取り組みが継続していること, 公開プロジェクト (ディスクロージャー・プロジェクト <http://www.DisclosureProject.org>) が世に出した証人と資料の一部が人々に届き続けていることを目にし, 勇気づけられました。

政府/民間の委員会が UFO 問題を調査するよう要求されたことについて, 私たちはこの要求を行なったあなたたちの賞賛すべき目的を高く評価する一方で, このような取り組みの予期せぬ戦略的影響について心配しています。すなわち:

- 合衆国と他の政府の諸部門に存在し, その大部分が民間機関および企業との '他から頼まれた仕事' の契約を通じて活動している, 強力で豊富な資金を持つ認められざる特殊接近プロジェクト (USAPs) が, すでに数十年間にわたり UFO (未確認飛行物体) /ET (地球外知性体) 問題を研究していることを認識することが重要です。

- これらのプロジェクトは, その性質において無法であり, 違憲であり, 国家横断的です。私が CIA 長官 R・ジェームズ・ウルジー, 国防情報局長官パトリック・ヒューズ将軍, 統合参謀本部情報局長 (J2), 要となる議会の委員会 (上院情報委員会, 下院監督委員会など) の重要メンバー, とりわけこういった人々に直接背景説明を行なった中で, 指揮系統は妨害され続けてきたことが明らかになりました。現在のコード名と番号を J2 に知らせ, その後で彼がペンタゴンの中にこれらの USAPs の一つを見つけ出し, その活動の情報が '読み込まれる' (または説明される) ことを要求した後でさえ, これらのプロジェクトに接近することを拒まれた, そうこの提督は私たちに語りました。

- これらの ET 輸送機の背後にある科学と技術は、少なくとも 1940 年代から研究され続けており、その大部分が解明され、複製されています。彼らのエネルギーと推進システムは、もしそれが公開されたなら、石油、ガス、石炭、原子力、公共施設などの必要性を一掃するでしょう。多くの UFO 目撃は、実際にはロッキード・マーチン、ノースロップ・グラマン、SAIC、および他の軍事請負業者により開発され、1950 年代終わりから飛ばされている進歩した航空機です。

- 重要なことは、あなたたちが提言している委員会にとってもよく似たコロラド大学のコンドン委員会が、1969 年に国民に対して罪を犯したペテン師になり下がり、その責任者であったコンドン博士は、知られざる秘密の CIA 情報提供者だったということです（CIA 長官のウルジーに背景説明をし、情報公開（FOIA）要求をした後で、私たちはこの事実を確証するある CIA 文書入手しました）。当時マクドネル・ダグラス・エアロスペースにいたロバート・ウッド博士がコンドン委員会に関わっており、コンドン博士が報告からあらゆる信頼すべき証拠を削除していたこと、他の委員会メンバーの目からそのような証拠を隠しさえしていたことを見つけました（www.DisclosureProject.org でウッド博士による証言を見よ）。ウッド博士がコンドン博士のこの挙動を問題にしたところ、コンドン博士は直接マクドネル氏に連絡し、ウッド博士を辞めさせようとしていました。今日のこのような委員会は、どれも多分同様の墮落したイカサマでしょうし、それは公開の重大な妨げとなり、隠蔽をさらに深めるだけでしょう。

- 上記のことに鑑み、私たちは UFO 目撃者の共和党デニス・クチニチが議長を務める下院政府内政監査小委員会（House Government Oversight Subcommittee for domestic affairs）、または同様に公正で信頼のできる議長に率いられたその他の委員会など、関連のある議会の委員会の前で、公開された隠し立てのない公聴会を持つことを推奨します。代案として、国連または国際法廷による公聴会も容認可能な場でしょう。

- 重要なことは、現在公開プロジェクトには裏付け公文書、プロジェクトのコード番号と名前に加え、世界中からの 400 人を超える軍、政府、企業、および情報機関の証人がいるということです。公開されテレビ放映される公聴会の前で証言するこのような証人たちの集まりは、公正な実況公開を確実なものにするでしょう。この取り組みは、公開され公正な議長に指揮される限り、政府委員会の調査よりは墮落する可能性はるかに小さいでしょう。

私はあなたたちが UFO についての真実の公開に向けたこの重要な仕事において、大きな成功を収めることを望むと共に、公開プロジェクトの全員が可能なあらゆる手段で、いつでもあなたたちを支援する用意ができていますことを断言したいと思います。この問題をもっと議論するために、いつでも遠慮なく私にご連絡ください。

常に最善を、

スティーブン・M・グリア 医師
責任者
公開プロジェクト

(訳： 廣瀬 保雄)